



まだまだ旬! 松江にもこんな店が!!



"ここにはいつも笑いがある!!" 「ホームバー ビギナー (BEGINNER)」

“縁”を感じてOPEN3周年を迎える「ホームバー-BEGINNER」から新春のメッセージをお届けします。店でレクリエーション企画で体育館を捜していたところ松工バレエ部OBの宮廻部長を後輩から紹介されて千鳥福祉会を知り、店を開店して何か微力でも社会貢献をと考えていた私の腹は決まりました!! カラオケを唄った人から頂いた寄付金を千鳥福祉会に役立ててもらおうと…!毎年クリスマス時期にサンタの気持ちになって持参しました。あまり大きな靴下には小さすぎる(少ない)プレゼントですが…。そんなこんなで今年は3月3日でOPEN3周年!! 少し店の紹介を…特長はドアを開けて、まず靴を脱いで上がれば家のリビングでワイワイを交わしている様な錯覚!今や焼酎は他店では飲めない種類ばかりが約100種類。つまみもオリジナルな物ばかり、お客様からはコレ何!?と言う質問責め毎日。家で飲んでいる錯覚からカイスの占有時間の長い事長い事!! こんな店が松江にあったんだねえ~!と声が飛びお店です。

松江市寺町 205-3 土井ビル 2F

Phone:0852-25-8228

●営業時間 / 18:00~24:00

●定休日 / 火曜日

☆一次会からのご利用も大歓迎!
メニュー・ご予算等、お気軽にご相談ください。



まずは、新年会にどうぞ!! 「笑門来福」

加納 守

BEGINNER(ビギナー)

「私の趣味」

私がコンピューターを使い始めたのは約五年前です。当初仕事柄設計図面は手書きで写真は銀塩カメラで撮り写真屋に出して現像して貰って居ました。しかし時代の流れで設計図面はCADで作成しないと通用しなくなり、それと同時に仕事の写真もデジタル写真データをコンピューター上の文章に貼り付ける様に成りました。従って嫌でも仕事はコンピューターを使用することに成った訳です。ところで皆さんもご存じの通りデジタルカメラとコンピューターは密接な関係が有り、そのころから趣味の写真の虫が頭をもたげて来ました。元々私は写真好きでそれまでのカメラは銀塩一眼レフを愛用し、デジタル写真などは画質も悪く銀塩写真等に到底太刀打ち出来ないと居ましたが、使っている内にデジタルカメラほど便利な機器は他に無いことに気が付きました。まず写した画像はその場で確認出来るし、写真屋で現像しなくても自分のパソコンで画像を見ながら現像処理をして印刷も出来、又保存もすべてコンピューター上で出来る魅力にとりつかれてしまいました。

しかし、デジタルの世の中は日進月歩。一年もたない内に新機種が発売に成り画質、容量又記録スピードも飛躍的に向上し、それに伴い周辺機器もそれなりにグレードアップしないと現像タイムに支障をきたす様になり、それなりの機器を購入するには金額も張って経済的に負担の大きい趣味に突入しました。現在はオリンパスポーター3台と交換レンズ群6本その他の付属機器を所有し場面場面で使い分けをして写真技術の習得を勉強して居ます。又デジタル機器なので操作が複雑でマニュアルを読み技術習得する迄の時間が多く掛かり並大抵では無いですが、好きなことは何とかして覚えようとする性格なので余り苦に成りません。退職後の今は趣味の一環として写真雑誌を読み撮影技術を研究し主に孫の表情や風景又イベント等々時間の許す限りあちこち歩き撮りまくって居ます。そして画像を友達にメールしてストレス解消等に喜んで貰って居ます。会員さんの中にデジタル写真に興味をお持ちの方がいらっしゃったら語り合いたいですね。

Eメールは h.tt220912@mable.ne.jp です。

多久和 宏 明

「in 広島」

あけましておめでとうございます。

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

後援会の皆様にご協力いただきました数々のご支援に感謝の気持ちでいっぱいです。今年も変わらませずよろしくお願い申し上げます。

2008.1.15

Support News

後援会便り

社会福祉法人 千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL.0852-24-8820 FAX.0852-24-8825
ホームページ: <http://www.9ocn.ne.jp/~chidori>
メールアドレス: chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

2008年1月15日 No.13

新年のご挨拶



千鳥福祉会後援会 会長
稲塚 公郎
(松江土建株式会社会長)

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は何かと後援会の各事業の推進にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。新しい年 2008 年はオリンピックイヤーで北京五輪は8月8日に開幕します。日本勢の各種目で活躍を大いに期待すると共に、五輪に限らずあらゆる方面で良い話題が多い年でありますように願ひ、また自立支援法が施行された厳しい経営環境の中で、知的障害者の雇用の促進が図られる年となりますよう心から期待する次第であります。

さて、昨年9月に松江市内に開設された知的障害者の働く事業所としての金融機関の施設が今注目されています。私も昨年は千鳥福祉会の幹部の方と一緒に、知的障害者の雇用の場の確保のために市内のある職場を訪問しました。いろいろと障害者雇用や仕事の話や聞くうちに、職場捜しの難しさや中味の厳しさを痛感させられました。

以前から障害者の社会進出の必要性が叫ばれていますが、雇用の状況はとても厳しいようです。一定以上の民間企業で、障害者を何人採用しているかを表す障害者雇用率というのがあり、全国平均は1.5%程度で法定雇用率が未達成の企業も40%位あるようです。また各施設や事業所などで障害者が受け取る工賃も非常に低額であり、国は工賃を今後5年間で倍額する計画を決めているようです。い

行事参加



千鳥福祉会後援会 副会長
伊藤 立身
(和光電通株式会社常務取締役)

千鳥福祉会後援会の皆様には、平成20年の新しい年を迎えられた事とお慶びを申し上げます。私事、諸事情により新年のご挨拶を失礼させていただきます事、お許しいただきますようお願い申し上げます。

さて、平成19年の暮れに選ばれた「今年の漢字」は「偽」に決定されました。防衛省・商社・食品関連等々、いろいろと問題の多い年だった事から、この漢字になったと思われれます。今年は、そういう事の無いよう、明るく、幸せな、素晴らしい年になる事を祈りたいものです。

話を変えますが、平成19年に当社が参加した、代表される行事のご紹介をさせていただきます。7月末「松江市民レガッタ」が開催され、社員から、当社の存在をアピールする良い機会ではと初参加と相成りました。結果は別として、当社役員とその家族、グループ各社から多数の応援もあり、大変盛り上がった行事と成りました。

ずれにしても前途には幾多の困難が横たわり、これからはかなりの努力が必要であると感じました。ただ障害者雇用に理解のある企業も県内には多いようですから、今後は企業の収益性の問題を乗り越え、少しでも地域の中で障害者自立支援の実績が向上してくることを願う次第であります。

ところで、現代は改革の時代と言われ、制度や仕組みが変化して行く速度がとても早く、高齢者にとってはそれに付いて行くだけで大変な苦労があります。さらに現代は情報社会であり、毎日のテレビやインターネットの情報の振り回される中で、私達はその刺激に反応することが現代人の条件であると考えがちであります。しかしその一方で情報に振り回され、刺激を受けることにより、欲望に走りたりして、後から後悔をするようなことがたびたび起こっています。

しかし良く考えてみると、何事も便利になった今の社会で、このような事象が起こるのは、あまりにも急がし過ぎて自分自身をしっかりと見つめる時間が失われていることが、その原因の中の一つであるような気がしてなりません。自分自身に語りかける、自分自身のことを考える、自分を取り戻すことはとても重要なことであります。

この観点からすれば「元日」というのは一つの区切りであり、失われたものを取り戻すことが出来る良い機会であると考えます。

年頭に当たり「よし今年はやるぞ」の意気込みを新たにし決意をすることが出来れば、今まではばらばらな自分の気持ちや精神を統一し、自分自身を良く見つめ、向上させる効果が出て来るのではないかと思っています。

では何を目標にするのか、それは出来るだけ単純な事柄で、他人の為でなく自分自身のために何か目標を決めて実践することが大切です。気軽に出来る具体的な例として、禁煙、酒量削減、飽食や間食、早寝早起き、運動、読書、趣味、家の中の整理など身の周りには幾らでも存在しています。新しい年にあたり自分自身を良く見つめる機会を創り、私自身も挑戦してみたいと思っています。今年一年が皆様にとりましても千鳥福祉会にとりましても良い年となりますように祈念申し上げご挨拶いたします。

もう一つの参加行事としては、9月初め「第30回 松江津田地区バレーボール大会」に出場致しました。お陰様で参加24事業所の中の頂点に立つ事が出来、レガッタ同様に盛り上がりました。

いずれの行事も、役員・その家族・グループ各社と一体となり、一つの目的に向かう事の喜びを味わう事が出来ました。

終わりに、私共地元企業として催事・行事・ボランティア活動等の参加を推奨して行き、出来る限り各種の諸活動に参加し、地域社会に少しでもお役に立つ事が出来ればと考えて居ります。



ワタキューセイモア株式会社
中国支店米子営業所 所長代理
松本 和博



共和木材 代表取締役社長
松江工業バレーボールOB会会長
石川 輝海



綿久リネン株式会社
岡山支店 営業
平岡 賢



新年のご挨拶を申し上げます

謹んで初春のお慶びを申し上げます。会員の皆様の御多幸と御活躍をお祈り申し上げます。



「初収穫」

千鳥福祉会後援会 副会長
長峯幸恵

明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。あつという間に一年が過ぎてしまったような、今年こそは、暮らしやすい世の中になってほしいと願うばかりです。我が家のおじいさんは、長年の趣味で畑を作っていました。肥料と土を混ぜて耕し畑作りから、季節の野菜、花を植え、家族のように愛情たっぷりに世話をしていました。草ひとつ生えてなく、道行く人からは、「庭のような畑ですね。」と言われる程、見ても素敵なものでした。元気な方なので、ずーっと作ってくれようと思っていましたが、四月に亡くなり、私にできるだろうかという不安はあったのですが、おじいさんの変わりに作り始めました。少しの知識はあってもいざやるとなると何をどうしたらよいのか分からず、見よう見まね、分からないことは実家の母に聞きながら、夏野菜から作り始めました。天国から、おじいさんが力を貸してくれたのかとてもよく育ち素晴らしい、きゅうり、トマト、ピーマンが収穫できました。自分で育て、収穫できることが、こんなに嬉しいとは、ついつい人に自慢したくなりました。それからは、畑作りが楽しくなり、さつまいも、大根、かぶなど、いろいろな野菜に挑戦しています。おじいさんから、引き継いだ畑作り、私の楽しい趣味になりそうです。



新年明けましておめでとうございます

千鳥福祉会後援会 理事
佐藤エミ子
(尚 司 建設)

千鳥福祉会の皆様方、良いお年になります様心からお祈り申し上げます。山陰は、経済も季節も今厳しい冬の真只中ですが、わずかの希望でも信じて知恵と努力を土台にして、社員と共に新たな気持ちで頑張りたいと考えております。

人は生涯の間に予期せぬいろいろな出来事に出合っ経験し、学習しながら良も悪もいつしか大人と呼ばれる様になるものですね。永遠に青春が続くものと思いたい事も知らずすたすた真っ直ぐだった若い頃……。家庭を持ち子育てに悩み、生活に追われつつも仕事の出来た働き盛り……。

そして一段落、ふと気が付けば自分や家庭の健康に何がしかの不安を感じる歳となっていました。しかし、人生の道は未だこれからです。春は桜、夏は祭り、秋には紅葉、冬の木枯らしさえも抱きしめて、季節のうつろいと共に持てる感動を研ぎ、自分の目で心で体で受け入れて、感動しながら元気にゆっくりと流れたいと欲張っています。どうぞ本年もよろしくお願い致します。

千鳥福祉会後援会 監事
岩崎光春
(クリエイティブプロダクションアトス代表取締役)

新年明けましておめでとうございます。新年の年頭に言うことではないかもしれませんが日本から歳事に対する思いが欠けつつあるような気がするのは私だけでしょうか。歳事は道徳にもつながっているような気がしませんか？私たちが大人が大切に継承していかなければなりません。ところでコラボレーションという言葉が昨年頻りに使われていたことを覚えていますか？この言葉を昨年の流行語にしてはいけないと思えます。共に助け合って、お互いの良いところを生かしあひながらの精神。私たちは、自分が一人で生きていくように錯覚していますが実のところ、人との関わり合いなければ生きていけません。助けたり助けられたりですね。毎日のニュースを聞いているとこの、「人との関わり合い」を忘れてるようになってしまいました。

2008年は「心のコラボレーション」。もう一度、自分を見つめ直すことが、人に助けられていることを感じる重要なことなのではないでしょうか。今日助けられたら、明日は助けよう。そうならばみんな優しくなりますね。

コラボレーション、これは企業間だけの言葉ではありません。



新年明けましておめでとうございます

千鳥福祉会後援会 副会長
野津瑞江
(瀬谷谷鉄筋 常務取締役)

昨年何らかと皆さんのおかげで、仕事をさせていただきました。今年も、どうゆう年になるのだろうか、早くも心配性の私は、いろいろと悩んでおられます。世間では、温暖化とか、格差とか、値上げとか、いろいろ騒がれています。周りを見回しても、暗い話が多いような気がします。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私の好きなO、ハンリーの賢者たちの贈り物という話をさせていただきますたいと思います。

結婚して、最初のクリスマスを迎えた若い夫婦が、お互いに向かい贈り物をしようと考えました。しかし二人は貧しい暮らしをしていたので、余分なお金はありません。妻は、夫が大切にしている親の形見の銀の懐中時計に、鎖がないのを知っていました。クリスマスの日、妻はどこかへ出かけて行き、帰って来た時には頭にスカーフを巻いていました。そして夜、妻は夫に懐中時計の鎖をプレゼントし、一方夫は妻にベア甲のくしをプレゼントしました。二人は大喜びでした。しかし、スカーフがハラリと取れた瞬間、夫が見た妻の顔には、美しく長い黒髪はありませんでした。妻は自分の美しい髪を売って、夫の鎖を買ったのでした。夫の方も鎖をつける懐中時計を売って、妻にベア甲のくしを買っていたのです。でも二人は大変喜んで、幸せなクリスマスを過ごしました。心温まる話で私は大好きです。

私はいつも、人は自分を写している鏡だと思っています。人と接する時は、思いやりと感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。無償の思いやりこそ、忘れてはならない大切な心ではないでしょうか？私もそういう生き方ができればいいなあと思っています。また今年も宜しくお願いします。



千鳥福祉会後援会 監事
青山まゆみ

新年、あけましておめでとうございます。今年も平成20年。平成に変わりもう20年も経ってしまいました。

時間というものは、何があっても誰にでも私達の意思に関係なく確実にやって来ます。

昨年私は00代に突入しました。今後の人生計画をたてる中で、様々な出会いがあり少しずつ行く道が整備されつつあるかなという一年でした。そして、必然だったのかな？また、は一年の締めくくりなのかなのか分かりませんが、12月の始めに大阪へ出張した時のこと八人乗りのワゴンに七人乗って、私は最後尾に3人で座っていたところトラックに追突されたのです。

不幸中の幸いでみんなで病院へ行きレントゲンを撮ったりもしましたが七人共ケガがなく出張先へたどり着くことができました。突然心と体の準備もないままドーン!! ガラスは頭から肩から降りかかり、思わず後ろを振り向いたらトラックの顔がガラス越しではなくそのまんまあったという感じでした。さすが七人ともプラス思考の人間だったので、怒鳴ったり、興奮することもなく冷静でした。それどころか、掃りには折角当てられたんだからという事で、皆で三万円ずつ出して新大阪駅で宝くじを買ってしまいました。まだ結果は分かりません。もちろん掃りは車がありませんので、新幹線とやくもで帰りました。七人の絆が深まったのは言うまでもありません。人生何が起きるか分かりません。悔いのない人生を送りたいと思う今日の頃です。

千鳥福祉会 理事
林 悟
(株島根東亜建物管理 専務取締役)

最近格差社会と言われてます。戦後アメリカ型の考え、教育が入り、戦後60年たって完成したのが今の社会、これがいいのか悪いのか大いに議論すべきではないでしょうか。アメリカが風邪をひいて日本の株価や円が目減りする構造はなんとかならないでしょうか。日本人のかいた汗はむくわれません。

さて、皆様大晦日はソバを食べられましたか。年越ソバの習慣には、ソバが細く長いので長寿を願う説、タンが切れやすいので一年の苦勞を立ち切る、ソバ粉で金粉を集めたことから金運説などありますが、とに角2008年が良い年になることを願っています。又、平成20年はオリンピックの年ですね。ねずみが多産のため子孫繁栄、ねずみが黒天=大國主命を火中から救ったことにより招福、招財に恵まれるといわれます。それを信じてねずみ年万歳!!皆様に福が来る年であることを願っています。

千鳥福祉会 副理事長

高橋 行

(埼玉県 社会福祉法人むさしの郷 理事長)

新春を迎え、心も新たに清らかな社会のあり方を願いたいものです。21世紀に入り、各分野での改革、変革が進んでいますが、まだまだ人間本来の暮らしやすい社会生活には至っていないようです。戦後の物造りによる生産活動が全盛の時代は、男中心の社会でした。それは「ハード・もの・物品」造りによる高度経済成長を、社会的な価値とした時代であったとも言えます。ところが新世紀に入って急激な変化のもと、「ソフト・精神・魂」が新たな価値を生み出す時代になりつつあると考えられます。

物さえあれば豊かになれた時代から、その物が行き渡ると、次はソフトが組み込まれボタンさへ押せばリモートコントロールで、必要に応じてすべての家電製品などが自由に好みどおりに設定できる。既に産業界の生産現場は人間に代わりロボットが生産にあたっています。このような時代になりますと、改めて人間の価値観が見直されるのではないのでしょうか。人の精神に宿る魂にまで行きつくような、重要な社会的価値が出現してくると思えます。すでに、このことに国民は気が付いているのではないかと。それは地方からの要望でもあるのです。それをもっとも端的に表しているのが、地方分権であり、中央と地方の経済格差に止まらず、社会的弱者と言われる人達に被害が出ていますし、山間部の限界集落の急激な出現は、都市部の中にまで出現しているのです。限界集落とは、お分かりのように高齢化社会を指しているのです。ハード・もの・物品が重要視された男社会から、ソフト・精神・魂が見直され、繊細でより情緒豊かな女の方が望ましい社会に代わりつつある。いまや経済的な自立をなし得て、女性が各分野に進出しているのですから、当然のこと女性パワーが社会の再構築に当たるのではないかと。それはすなわち子育てを産み育てる精神こそ、人間本来の魂を呼び覚ます原動力となり、本物となる時代に入っています。世界的に見ても女性の大統領や首相の出現も多くなっています。女性の皆さん大いに活躍して日本を変えてほしいものです。もっとも女性の方がはるかに人口も多いのですから、当然といえば当然のことです。そのために男性は必然的に女性に協力して行かなくてはならないでしょう。それはすでに世界的な傾向でもあるようです。



四日市市
パタカラセッション会場にて

株式会社パタカラ (歯学博士)
代表取締役

秋広良昭

新年明けましておめでとうございます。

本年も皆様にとって素晴らしい年を迎えられることを祈っております。昨年は、私にとりまして素晴らしい年でした。約2年ほど前から、2ヶ月に一度の間隔でほぼ定期的に三重県四日市市でダウン症のお子様方をお持ちのお母様方と集まって、パタカラセッションをしており、口唇閉鎖力の測定、パタカラ体操、その後最近のお子様の変化についての報告会を続けておりました。

パタカラをはじめから2年目、お子さんのうれしい変化に驚いています。知能検査で正常域に達して手帳を返納したり、自閉症特有の症状が薄らいだりというケースが出てきました。今度、島根にお邪魔したときには、表情の変化がわかる写真、診断書にご家族の喜びもあわせて詳しい報告をさせていただきますと思っています。楽しみにしててください。そして、口唇閉鎖力トレーニングで脳を刺激するパタカラ使用の継続によって、皆様健康な生活を送られますようお祈りいたしております。(インターネットでパタカラを検索してみてください)

(尚) 木佐設計

代表取締役 木佐英一

昨年の正月は嵩山に「初日の出」を拝みに登りました。雲はあるがまあまあ空模様だったので、今か今かとその瞬間を待っていましたが、「アレ〜!いつ昇った??」と言う感じで「初日の出」は終わりました。それでも大山は美しく裏と響いていましたので大山に手を合わせ場々と下山しました。

そんな感じで始まった1年でしたが、貴重で嬉しい体験をした年になりました。54歳になるのですが、なんと同級生が7人も出来てしまいました。しかも「全員女性」です。

話せば長い話になるのでかいつまんでお話をすると、経営コンサルタントの方の指導を受けていたら「これからは福祉や介護住宅の改修工事が多くなる。ただバリアフリー、バリアフリーと言っても多種多様な障害があり不便具合があるから、介護とはどうゆう物かホームヘルパー2級講習を受けてみなさい。」と言われ、ご指導に従いホームヘルパー2級の講習を受けました。

毎週土曜日に授業を受けました。授業はきっちり進みましたが、頭が固くなってきているのでなかなか直ぐには言葉が出てこない状況なものですから、まあそこそこで終わりました。頭で考えているほど簡単ではない事、要領が色々ある事を実感しました。介護される側がどの様な感じなのか、介護する側はどうすれば自分も楽で、介護を受ける側も楽なのかサワリの部分を勉強しました。

デイサービスと「持田の郷」と訪問介護の実習も受けました。色々体験しましたが、やはりみんなで机を囲んでお昼弁当と一緒に食べたのが一番楽しかったです。打ち上げの昼食会にも誘って頂き嬉しかったです。オヤジを忌み嫌わずに接してくれた彼女たちの包容力に感謝です。

2008年の正月も嵩山に「初日の出」を拝みに登ろうと思っています。晴れたら晴れたなりに、荒れていたら荒れていたなりに嬉しい事、楽しい事を見つけ出して行けたらいいなと思っています。

自立

ボーディングやどや 社長
石飛弘志

私が市内の商店に入りましたら、店員の1人が声をかけてくれました。驚きました。今まで施設から私のところに手伝いに来てもらっていた福田君ではないですか。

本当に驚きましたし、よかったですと思いました。最初にお客様に大きな声で挨拶ができればそれが一番だと思いました。難しいですが、福田くんならできます。頑張ってください。私も応援いたします。



一歩一歩ゆっくり
歩きましょう

ダイソー&青山松江店
ストアマネジャー
梶原 亮

福田さんを採用するに当たり、知的障害者どう接してよいか分かりませんでした。しかし、福田さん自身の明るい性格でいつも笑顔であることに心を打たれ、逆に笑顔での行動を教わりました。今では清掃・ごみ処理といった雑用から、売場での商品出しまで出来るようになり、お客様への挨拶も出来るようになりました。こちらがやさしく甘やかすのではなく、厳しくても勢い、楽しさのある教育を行えば彼らはきっと応えてくれるはず。偉そうなことは言えませんが、他の企業様も積極的に採用活動を行ってみたいかがでしょうか？

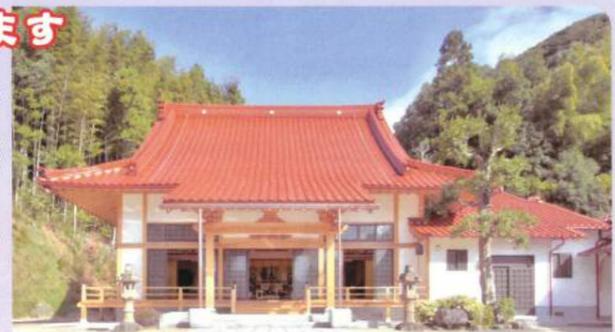
新年明けましておめでとうございます

新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。当社におきましては、厳しい経済状況が続く中、皆様方の御理解と御協力を得るために、全社員が一致結束し、一層の努力を重ねてまいります。載せております写真は、昨年施工させて頂いた了玄寺本堂です。この他にも住宅の新築、リフォーム等、建築工事の施工はもとより、設計・相談も承っております。

何かございましたら、お気軽に一声かけて頂ければ嬉しく思います。何卒、本年も変わらぬご愛顧と格別のお引き立てを賜ります様、お願い申し上げます。

ISO9001 審査登録
環境を守り、
安心を創る

松江土建株式会社
本社 / 〒690-8513 松江市学園南二丁目3番5号
TEL 0852-21-3521 (代) FAX 0852-21-8285
<http://www.matsue-doken.co.jp>



了玄寺本堂 (雲南市大東町)